

小椋 義正

奥裏磐梯未来企業組合 理事長

昭和22年（1947）、北塩原村生まれ。

建設業を経営するかたわら、村会議員や商工会副会長として地域活性化に尽力してきた。2014年、桧原湖の北岸周辺「奥裏磐梯」に賑わいを取り戻すために有志と組合を結成。

日本酒を冬の氷結湖に春まで沈め熟成させる「氷湖熟成」の商品化で話題になった「奥裏磐梯未来企業組合」。

東日本大震災の後、裏磐梯の二大産業である農業と観光は大打撃を受けました。福島県内というだけで風評被害が広まって農産物は売れず、観光客も来てくれない。なんとか地域を活性化しようと2014年12月、地元有志15人でこの組合を立ち上げました。「氷湖熟成」は全国的に珍しいと発売1ヶ月後には完売するほどの人気に。

2017年には桧原湖北側の空き民宿を活用した塩ラーメン専門店「早稲澤屋しお〇」をオープン。味付けは大塩裏磐梯温泉の「山塩」、豊富に含まれるミネラルのおかげで角のとれた塩味の中に甘みを感じる、まろやかなスープが生まれました。

3年経って、塩ラーメンはすっかり桧原湖畔の名物になり、店は連日賑わっています。現在、裏磐梯で困っているのが、クマなどの獣害。特に震災後はイノシシとイノブタが増えて駆除が間に合わない状況です。また、国立公園では、場所によっては下草刈りにも許可が必要ですが、景観に配慮した手入れができるように関係機関に働きかけ、これから先の「未来」にも多くの人に裏磐梯を観光してもらえるようにしていきたいと思います。



当店人気の「とうみぎラーメン」。地元早稲沢地区で収穫したトウモロコシの甘さが引き立つ